

自分を守る

そうするつもりはなくても起きてしまうのが『事故』です。交通事故だけではなく、普段の生活の中でもいろいろな事故があります。気をつけるポイントを知っているだけでも、自分を守る力になります。

例1. ラーメンを作ろうと、ガスコンロで鍋を火にかけたところ、服の袖に火がついて腕にやけどを負ってしまった。

何か調理をするときは、袖口の広い服を着ないように、できれば少し袖をまくりあげておくといいですね。また、コンロの奥にあるものを取りときは、必ずいったん火を消してから取るようにしましょう。

例2. 暖房器具にもともとおかしいところがあるのを知らずに使っていて、突然煙が出てきた。

いくつかのメーカーが、リコール（おかしいところがある製品を、会社が回収して修理や交換をしてくれる）を告知しているものがあります。裏面にその一覧を掲載しているので、参考にして、家の暖房器具を確認してみてください。

事故以外にも、無理やり物を買わされたり、契約させられるというような、詐欺の被害からも自分を守りたいものです。

例3. 「総務省」の人であると名乗ってきて、「地上デジタル放送（地デジ）を見れるようにする」と言い、テレビを点検された。部品の交換が必要と言われたのでお金を支払ったが、後から必要のないものとわかった。

2011年から地デジにかわるので、今までのアナログ放送のテレビは見れなくなってしまう。しかしそのことで、こちらから連絡もしないのに、総務省の人が点検をしたり物を売ることは絶対にありません。突然来られても、「いりません」「帰ってください」とはっきり断りましょう。

人を疑うことが大切なのではなく、どんな被害があるのかを知ることが大切です。そして、「おかしいな」とか、「しまった!」と思うことがあれば、すぐに相談してくださいね。



思いどおりにならないことを、人のせいにしてしまえば楽かもしれない。でも、ほんとは知ってるよね。すべて自分しだいだと。（見学）